

最近、ここ何カ月、カラダの感覚が良くない方へ変化しています。明らかに異常なカンジ。自分のカラダの異常はまず自分がイチバン分かっている。

頭ではアレに手を出しちゃダメだと分かっている、アレは何処でも手に入るし気を抜くとあの手この手で誘惑してくる、ダメダメと思いつつも、その、アレにハマってしまいました。

アレを摂取し過ぎてはいけないと。今まで視界に入っていたもののあえて自制心をフル稼働して遠ざけていた例のブツ。ほんの出来心で、ある真夜中にふと摂取してしまったあの日からもう、そのブツが無いと不安になるという有様です。今まで警戒してきただけに油断して気を許し摂取した時の恍惚感僕をトリコにしました。その、僕のカラダに入り込み僕のココロをいのようにコントロールする憎いあんちくしょう。

それは……カップ麺達です。学生時代の独り暮らしの頃から、カップ麺関係を何となく遠ざけていました。何となくカラダに悪そうだと。かと言って全く食べなかったワケでもなくて、たまに食べると美味しいねーと仲間と笑って語り合う、主食だかおやつなんだか、ま、そんなに拘って食べるものじゃなかったカップ麺たち。

ここからカップ麺達の事を書き進めて行くのですが、メーカー名や商品名を出せないのが辛いなあ。

その日僕は、体調も悪くてイヤなコトたくさんあっ

て、当然食欲もなくていつものようにお酒に酔って気が付くとふらふらとコンビニにいました。食べたいワケじゃないのに、どういいうワケだか、カップ味噌ラーメンを買い物かごへ。んで、とぼとぼと自宅に戻り、シャワーを浴びて、なぜか買ってきたそのカップ味噌ラーメンを作ってみたのです。缶ビールを片手にパッケージに書かれている待ち時間5分を守りましてね。

で、何の期待もせずにはんやり啜ってみたら。今どきのコップ麺ってこんなに美味しかったんだ！カップのクセに！とビックリとしたワケです。となると、今まで素通りしていたスパーやコンビニのカップ麺売り場が宝箱というかお花畑のように見えてくるんですね。

もともと、ひとつの食べ物にハマると飽きるまでずーっと食べ続けるという傾向があるため、それからずーっとカップ麺買い漁り。

しかも、食べてみたカップ麺のパッケージを全て写メで記録。マズかったヤツはアルバムから消去。というなんだからマニアックな様相です。

ずっと前にここで書かせていただきましたが、冷やし中華にハマりすぎて、毎日食べ続ける自分の事が心配になり母に相談したところ、「つわりのようなものだ」とワケの分からない慰めをもらったことがあります。

今回はカップ麺です。中華系、和風系、エスニック系、もう、パッケージを見ているだけでどれも試したくなる。で、母に相談しても無駄なので自分で調べてみました。

エッセイスト 北園修

横浜生まれ、横浜育ち。東京コピーライターズクラブ在籍。クリエイティブディレクター、エッセイスト。

カップ麺を頻繁に食べても大丈夫か。ヤバいそうです、それは。何より塩分がヤバいと。血圧上がるぞ、と。実は僕、十数年前に頭というか首の辺りがモヤモヤして病院に行ったところ、血圧が上230下が190という数字で大変キケンているのですが、ここにきてカップ麺にどハマり。危ない。

でも、小腹がすいた夜更けのあのお気に入りのカップ焼きそば(あゝ商品名書きたい)と缶ビール。片手にカップラーメン片手にコンビニおにぎり(商品名書きたい！)

背徳感と恍惚感の掛け算。意思の弱い自分にはいつも困ったものです。

あ、そうだ、唐突ですが。スズキさん、12月号を読んでポツンと横浜の隅っこにある美人ママの立ち飲み屋さんを探し訪ねてくれたと聞きました。毎月読んでいただいてとてもううれしいです。それでは、いつか。



Photo:藤間 久子『Slowly』

岡山県生まれ。JPS(日本写真家協会)会員。カメラマンとして活動の傍ら、個展やフォト&エッセイなど自分の作品づくりに励んでいる。